

厚生労働省「女性医療職等の働き方支援事業」に採択

オール女性医師キャリアセンター他の取り組みが評価

【本件のポイント】

- 女性医師比率増加や役割の拡大などの社会的要請に対応
- 女性医師が安心して勤務できる環境構築のためセンター設立
- 女性医師復帰プログラムを整備

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市、理事長・山下敏夫、学長・友田幸一）は、2021年8月30日（月）付で厚生労働省による「令和3年度女性医療職等の働き方支援事業」に採択されました。

1928年に大阪女子高等医学専門学校として設立された本学は、設立以来、女性医師の育成と活躍を推進してきました。特に近年では、本学の女性医師数も右肩上がりに上昇し、2021年現在、女性医師数は5年前と比べて123%増となりました。また、本学の医学部では、毎年 of 入学者に占める女子学生の割合が4割を超え、今後も一層女性医師への期待や役割も大きくなっていくものと思われます。このように女性医師のキャリア形成への関心も高まっている今、本学において女性医師が安心して医師としてのキャリアを継続できるよう、2020年4月1日に、オール女性医師キャリアセンター（以下、「センター」）を設置しました。

センターでは、「すべての女性医師に活躍のステージを提供する」をスローガンに、女性医師の声を積極的に取り入れ、結婚、育児、介護などさまざまなライフイベントの中で多種多様な働き方を選択する女性医師のキャリア形成を支援するとともに、女性医師が働きやすいと思える職場環境の整備を推進しています。今回、このような取り組みが認められ、「女性医療職等の働き方支援事業」採択にいたしました。

<女性医療職等の働き方支援事業とは>

近年、医師における女性の割合が高まっている一方、女性医師の中には、出産・育児・介護等によりキャリアを中断せざるを得ない場合があり、女性医師の働き続けやすい環境整備の在り方が課題となっています。また、男性医師や医師以外の医療従事者も含めた勤務環境改善等の支援も必要となっています。このような状況を踏まえ、女性医療職等がキャリアと家庭を両立出来るような取組を構築する機関を選定し、普及推進可能な効果的支援策モデル構築を支援することで、当該医療機関における女性医療職等のキャリア支援の充実を図り、以て全国へ女性医療職等の支援策を普及させることを目的に、厚生労働省により制定された事業です。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・両角）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

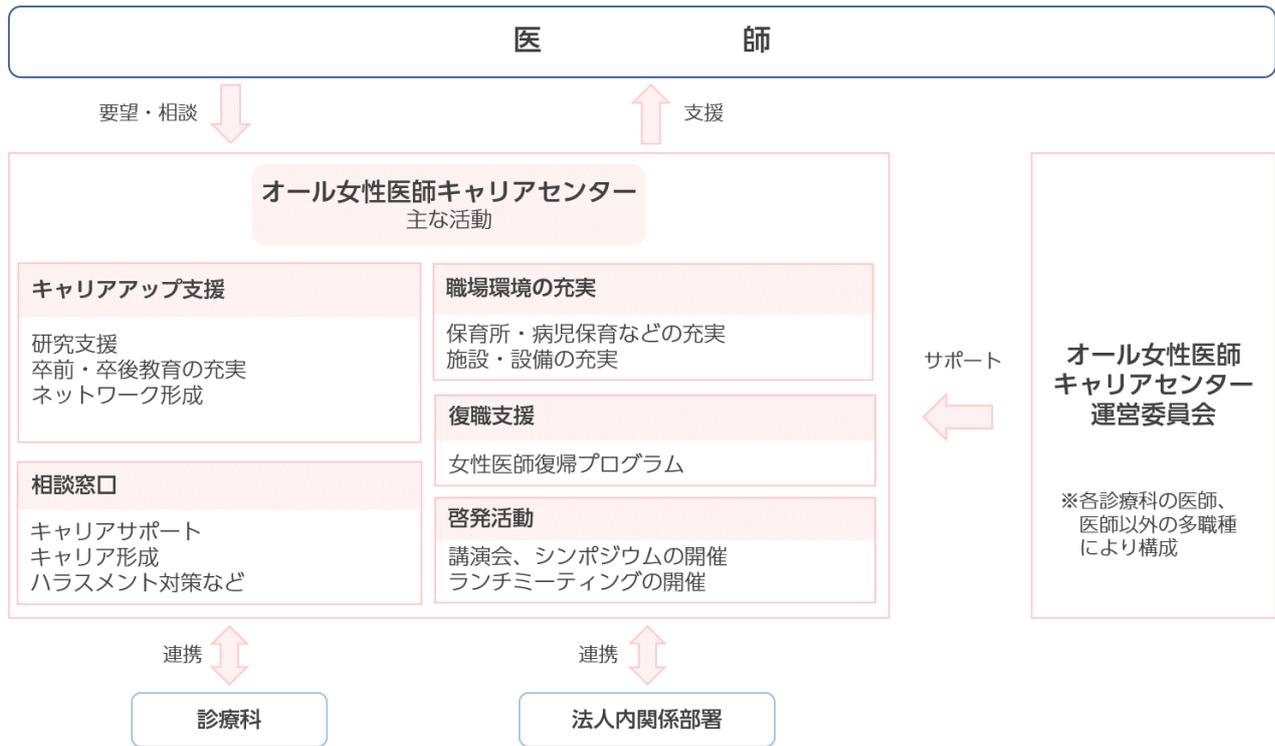
電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

PRESS RELEASE



<オール女性医師キャリアセンターについて>

結婚、育児、介護などさまざまなライフイベントの中で多種多様な働き方を選択する女性医師のキャリア形成を支援するとともに、全ての女性医師が安心して勤務できる職場環境を構築することを目的として活動しています。



<関西医科大学における主な女性医師支援の取り組み>

■女性医師復帰プログラムの整備

離職前のスキルや離職期間などに応じて、個々に合わせたトレーニング内容を提供しています。実技研修では、本学シミュレーションセンターの利用も可能。また、復帰までの面談の有無や面談内容、その診療科で職場復帰を果たした女性医師の経験談などをホームページ上で発信しています。

専門医取得に関しては、各学会によって条件等が異なるため、女性医師キャリア形成支援担当医と連携し、女性医師が無理なく専門医取得を目指すことができるようサポートしています。

■病児及び病後児保育支援制度の新設

本学に勤務する女性医師に、病児及び病後児の保育を利用した料金の一部を補助することで、診療などの業務遂行の支援や仕事と家庭の両立の支援を行うことを目的としています。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・両角）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

PRESS RELEASE



■女性医師キャリア形成支援担当医の設置

臨床に携わる講座から、1~2名程度上記担当医を選出し、講座・診療科とセンターとの橋渡し役として、キャリア形成支援活動に協力しています。

■短時間勤務正職員制度

育児または介護を行う女性教員（医師または研究者）を対象とし、育児での利用の場合は、子どもが9歳になるまで利用できることが特徴です。本制度では、始終業時間や勤務日数を柔軟に選択できるため、より生活実態に応じた働き方が可能。制度導入以降、本制度を利用する女性医師が増加し、多くの女性医師が育児や介護中でもキャリアを継続することができています。

■企業主導型ベビーシッター利用者支援事業の利用

内閣府による「企業主導型ベビーシッター利用者支援事業におけるベビーシッター派遣事業」を利用し、ベビーシッター利用料の割引を受けることが可能。本学では、教職員に本制度の積極的な利用を促すことにより、利用者が増加傾向にあります。

■院内保育所

附属病院と総合医療センターにそれぞれ設置しており、院内で勤務する医師や看護師などが利用。延長保育や夜間保育なども行っており、多忙な医療従事者の働き方をサポートしています。

■情報発信

オール女性医師キャリアセンターのホームページにて、女性医師支援制度や、本学で活躍する女性医師をキャリアモデルとして紹介しています。

特に若い世代の医師が、今後のキャリア継続・向上を目指すことのできるようなコンテンツが充実しています。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・両角）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp